

盲導犬講話・福祉体験学習 西小学校4年生・6年生

2月3日に盲導犬講話、2月6日に福祉体験学習を西小学校で行いました。
盲導犬講話では視覚障害の当事者である金城美千代さんと盲導犬ノエルから普段の生活や盲導犬への接し方などの話があり、これまで持っていたイメージとは違うことも多く、様々な気づきがあった時間となりました。

【盲導犬講話】



金城美千代さんと盲導犬ノエル



点字を打つ道具や音声案内機能のついた体温計など
普段あまり触れることのない道具にも触れることができ、貴重な体験となりました。



福祉体験学習では車イス・アイマスク体験を行い、危険なところや不安なことを実際に感じることでサポートの仕方や声のかけ方を相手の立場になって考え、行動することを学びました。

【福祉体験学習】



今回の講話・体験学習の経験が「自分たちにできることは何か」と相手の立場になってより深く考えるきっかけとなってくれたら嬉しいなと思います。気づいたことや感じたことをぜひご家族やお友達と話してみてくださいね！

今回の活動フォトショップ(^_^)♪



お金の種類どうやってわかるの？と質問
手の感覚で当てて見せみんなびっくり！！



真剣に話を聞き、メモを取る皆さん
多くの気づき生まれることを期待します☆彡



質疑応答の時間では
6年生から多くの質問があがりました



話を聞いた後は実際に車イスに触れて安全な基本操作について確認(^_^) いざ実践へ！



いつもは気にもしない
段差さえも
声掛けをしないと
転倒や不安感に
つながります💡



ペアから「怖かった」という感想が出るのは、その不安感を取り除く情報が「足りなかった」ということ。そんな時はどんな声掛けがあればその不安感が解消されるかを考えたり、ペアとコミュニケーションを取りあっていくことが大切です🍀